

2024年度 ニチキッズイオンモールかほく保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月8日（水）～1月29日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月25日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊び おもいっきり学ぶ」という保育理念に基づき、さまざまな経験を楽しめるよう工夫を凝らした保育に取り組むことができた。
子どもの発達援助	個人の思いや発達に寄り添いながら、一人ひとりが安心して園生活を送れるよう努めた。また、関わり方に迷った際には保育士間で意見を交換し、より良い保育を通して発達を支援した。
保護者に対する支援	登降園の際には、子どもの園での様子や成長を直接伝えられるよう心がけた。また、育児相談会などを通じて子育ての悩みを共有し、保護者様とともに子どもの成長を見守れるよう取り組んだ。
保育を支える組織的基盤	保育士同士のコミュニケーションを日々大切にし、連携を図った。また、外部研修や園内研修で学んだ内容を保育の現場で実践できるよう、ミーティングや職員会議を実施し、保育の質の向上につながる共通認識を深めた。

総評
「おもいっきり遊び おもいっきり学ぶ」という保育理念のもと、子どもたちが安心して園生活を送りながら多様な経験を楽しめるよう工夫した。保育士同士の連携を大切にし、意見交換を通じてより良い保育を目指すとともに、研修で得た学びを実践で生かすよう努めた。また、保護者とのコミュニケーションを重視し、登降園時や育児相談会を通じて成長を共有した。さらに質の高い保育を提供するためには、日々の振り返りを深め、より柔軟な対応を心がける必要があると感じる。今後は、一人ひとりの成長の変化をより丁寧に観察し、保育士間での情報共有をさらに強化することで、子どもに寄り添った柔軟な保育を行ってきたい。また、研修での学びを積極的に取り入れ、保育の質の向上に努めていく。